

※ 今週のアウトルック(6/8~6/12)

先週はドル円上昇、クロス円下落という状況でした。

週末に発表された米国雇用統計の好調な数字を受けて。

ユーロ、ポンドなどに対してもドル買いが進んだようです

今週はこの流れを受けて、どこまでドル買いが進むのかが、ポイントとなりそうです。

月曜日の東京市場の動きが注目されます。

先週のドル円は徐々にドル買いが進み、週末には米国雇用統計の良好な数字を受けて、160.3円までドル高となり、そのままNY市場を終了しています。

今週はこのまま160円台後半のレジスタンスを突破して、さらなる上昇となるのかが注目されますが、日銀の介入が気になるところです。

もし、介入効果が薄いという見方が広まってしまうと、

一気に161円台に乗せてさらに上昇、という状況も想定しておいた方が良くかもしれません。

ドル円の予想レンジは、158円~162円です。

ユーロドルは週末に一気に1.16を割り込んで、1.15前半まで下落しました。

ドル高がまだ進む余地はありそうで、1.14付近まで

下落してしまう可能性も否定できないように思います。

ユーロ円も185円を割り込んだまま週末を迎えています。

184円台前半まで下落する可能性は残されているように思います。

ユーロ円の予想レンジは、182円~186円です。

ポンド円も下落して、213円台後半で週末を迎えています。

212円台後半まで下落する可能性は十分にありそうです。

ポンド円の予想レンジは、211円~216円です。

米国雇用統計の良好な数字を受けて、米国金利の引き下げの可能性が後退し、NYダウが下落しました。

その影響から日経平均も大きく下落しています。

下落余波が残るのか、買戻しが一気に入るのか、月曜日の東京市場に注目です。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。